

かしわ もり 柏葉の杜



学校だより NO. 33
令和2年 3月 2日
八頭町立八東小学校
電話71-0108 FAX71-0107

※平安無事な3月であることを願い、3月2日発行予定の学校便りを作成しましたが、本日、2月28日に配布します。当たり前の日々、何でもないような日々が、如何に貴いものか、考えています。こうした事態になり、日々の暮らしの有り難さを痛切に思います。

○弥生3月 穏やかな3月になりますように
～ 平穏な日々が訪れることを、今は唯々願います。～

3月を迎え、八東地域の梅はすっかり開花し、一足早い春を迎えています。八東小学校の桜のつぼみも、毎朝児童を迎える時に観察していますが、日ごとにその膨らみを増しています。今年は、例年より早い桜の開花となりそうです。3月19日の第3回卒業証書授与式、3月24日の令和元年度修了式、それらを無事に迎え、終えることができ、みんなで喜び合いたいです。

御承知のように、日本国内全体が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、ここ1/2週間が重要な時期との国からの発表もありました。先ずは、無事に3月を終えるためにも、再度、保護者のみなさんに、感染症対策への御理解・御協力をお願いします。

さて、令和元年度、様々な出来事がありました。年間の学校行事も無事にほぼ予定通り大過なく終えようとしています。しかし、一方で最近の新型コロナウイルス感染症の影響で日本全国が、沈滞した暗鬱な雰囲気になってしまっています。しかし、そんな中、明るいニュースもありました。ちょうど1年前の3月1日発行の学校便り「柏葉の杜」に、次のような記事を掲載しました。覚えておられますか。

「試練を乗り越えた先に、すばらしい未来が輝いていることを信じて」と題して、東京オリンピック女子競泳のエースで金メダル候補の池江璃花子選手の「白血病」に向き合い、「白血病」と闘うことを公表した言葉を掲載しました。

「(前略) 私は、神様は乗り越えられない試練は与えない、自分に乗り越えられない壁はないと思っています。もちろん、私にとって競泳人生は大切なものです。ですが今は、完治を目指し、焦らず、周りの方に支えていただきながら戦っていきたいと思います。(後略)」(昨年度学校便りより)

さて、その池江璃花子選手が、先日、テレビに出演されていました。これまでも時折、メディアが近況を取り上げることはありましたが、テレビで松岡修三氏と対談し、病気と闘っていた時の心境、そして、今の心境を語る姿を拝見しました。対談インタビューの中で池江選手が、白血病を告げられた時、ショックのあまり大泣きし、しかし、部屋に戻り頑張るしかない切り替えたポジティブな気持ちに、唯々、敬服するばかりでした。また、自分自身が東京五輪メダル候補というプレッシャーから解放されたことで、ポジティブに切り替えることができたとも話されていました。

池江選手の「ここにいることが奇跡だし、生きてることが奇跡」という言葉と目に浮かべた涙。心に深く残りました。そして、最後にこう締めくくられました。

「(前略) 病気になって1ミリも良かったとは思わないですが、病気になって学んだことが多いから、自分がどういう立場でどういう気持ちで生きていくべきか考えさせられた。自分の人生にはすごくターニングポイントになった。」

2024年のパリ五輪の表彰台に向けて、今、池江選手は歩みを進めようとしています。現在はまだ泳げるまでではないそうですが、夢の中で泳ぐ姿を見るなど、復活に向けてのイメージは描いているようです。

人生には、それぞれ様々なターニングポイント・転換点があります。それをどう次の自分の人生に生かすかは、自分自身です。きっと池江選手は、数年後、新たな姿を私たちにを見せてくれるものと期待しています。

この一年間、子供たちに全校集会でいつも言い続けてきたことは、「一日一日を大切に」でした。この一年間子供たちは、様々なことに挑戦し、多くのことを学び、身につけ、一人一人が日々違う自分自身と出会うことができたと思います。小学校1年から中学校3年までの義務教育9年間。一人の人間が著しい成長を遂げる9年間です。大きなランドセルを背負って入学した1年生が、9年後にはすっかり成長し、自らの将来の進路に向かって一人一人が、別々の道へと歩みを進めます。同じ学校で学び、同じ教室で学び、共に遊び生活し、一緒に時間を過ごします。しかし、その9年間の中で確実に、一人一人の道は分かれていきます。結局、それは「一日一日を大切に」したかどうかだと思います。「15の春」に向けて、日々、時は動いています。

ところで、池江選手が先のインタビューの中で、これまでの何でもないような日々の出来事、家族と一緒に食事をしたり、外と一緒に出かけたり、当たり前の日々がどれほど貴いものか。何でもないような一日一日が幸せだったか。そうしたことを話されていました。「今、生きている幸せ」について話されていました。池江選手は、きっとこれからの日々を間違いなく「一日一日を大切に」過ごされていくと思います。

きっと池江選手は、自分の人生を前向きに歩んでくれると思います。

**○新1年生の体験入学から
～ 1年生も2年生に向かって、5年生も6年生に向かって ～**

先週25日(火)に来年度入学する年長園児を迎えて、本年度最後となる「新1年生体験入学」を実施しました。昨年から1年生と5年生が迎える形式で簡素化しています。前半は、5年生が体育館で一緒に活動をしました。すっかりなれているようで、楽しく名前紹介を交えた「猛獣狩りに行こうよ」のゲームなどをしました。5年生がリードしながら楽しく交流する姿が印象的でした。5年生の進行ぶりもすっかり板についていました。次は、1年生と交替し、1年教室で「ようこそ新1年生の会」を開き、新1年生と1年生がペアで一つのいすになかよく座り、少し勉強したり、学校の生活について1年生が伝える学習をしました。教室でもみんなと一緒に「パプリカ」の歌とダンスをしました。息の合った歌とダンスでした。次は学校探検に移り、探検先の音楽室では、1年生の合奏を静かに聞き、広い音楽室で「ジャンケン列車」をしました。前を新1年・後ろを1年の二人ペアになり、最後はみんなが一つにつながりました。そして、1年生・5年生で見送りをしました。



今回、去年と違うと感じたことは、新1年生の姿でした。集団として決まりよく落ち着いて活動できる姿。そして、小学校でも極度の緊張をすることもなく過ごす姿。これも、新八東保育園で1年間一緒に生活してきた集団としての安心感・安定感から来るものなのかと感じました。また、校長個人の感想ですが、体格の良い子供もたくさんいるように感じました。広々とした新八東保育園での1年間の生活が、年長の子供たち一人一人を、たくましく成長させているように感じました。来年度の新1年生の活躍がとても楽しみです。

今回、去年と違うと感じたことは、新1年生の姿でした。集団として決まりよく落ち着いて活動できる姿。そして、小学校でも極度の緊張をすることもなく過ごす姿。これも、新八東保育園で1年間一緒に生活してきた集団としての安心感・安定感から来るものなのかと感じました。また、校長個人の感想ですが、体格の良い子供もたくさんいるように感じました。広々とした新八東保育園での1年間の生活が、年長の子供たち一人一人を、たくましく成長させているように感じました。来年度の新1年生の活躍がとても楽しみです。

**○本年度最後の社会見学
～ 3年生が鳥取に出かけ、たくさん勉強してきました。～**



2月19日すばらし冬晴れのまぶしいほどの青空の元、3年生が社会見学に出かけました。教科書での学習を実際にその場に出かけ、そのものに触れて学ぶための学習です。今回は、消防署、警察署、昼食場所の博物館のコースをめぐる予定です。

消防署では、地上45mまで伸びたはしご車の姿に感動し、実際の各種の消防車や救急車の中を見学することもできました。博物館では、常設展をめぐる昔の生活の様子などについて学びました。そして、警察署では、少し緊張しながらも通信指令室など見学し、警察署の知らなかった役割も学ぶことができました。

何より教科書での学習を実際に学ぶことができたことが貴重な経験になったと思います。子供たちが本物を見ることで多くの学びを得ることができます。一人一人がしおりにたくさんメモする姿もあり、「書く活動」を大切にしてきた学校の取り組みがこうした場面ですっかりと発揮されていました。そして、何よりも天気がすばらしかったことが、有り難いことです。



**○人権の花運動感謝状贈呈式にて
～ 今年も花の溢れる八東小学校でした。～**

先週の25日、本年度の標記の活動を締めくくる感謝状贈呈式を持ちました。当日は人権擁護委員の浅井元校長先生・上島元校長先生のみなさん4名に来校いただき、中心となって活動してくれた環境委員会の5・6年生児童、4年生みどりの少年団の代表児童が参加して式を行い、感謝状と全校児童数分のクリアファイルをいただきました。また、児童代表として4年の山本諒さんが感謝の気持ちを伝え、式を終わりました。



今年一年間、八東小学校は全校児童のお陰で、花の溢れるすばらしい学校環境を保つことができました。

【児童表彰関係】

- ・郡体育会表彰
 - 6年 藤田大獅 高原匠都
 - ・八頭町教育委員会表彰 《児童生徒功績賞》
 - 6年 樋引美菜穂(自転車大会・個人)
 - 藤田さち・飯田愛和・樋引美菜穂
 - 藤田紗那(自転車大会・団体)
 - 5年 西田佳夏(習字・地図研究発表)
 - 2年 山本 洵(習字)
 - 1年 佐藤 由奈(図画・個人)
 - ・ノート賞(・最後になりました。残念です。)
- | | |
|-----------|-----------|
| 1年 中西ゆい | 2年 花木 結愛乃 |
| 3年 保木本 幸愛 | 4年 中嶋 悠介 |
| 5年 竹内 生樹 | 6年 八田 委久 |